

(報告) 2025年度 ユーザー理解活動 経過報告

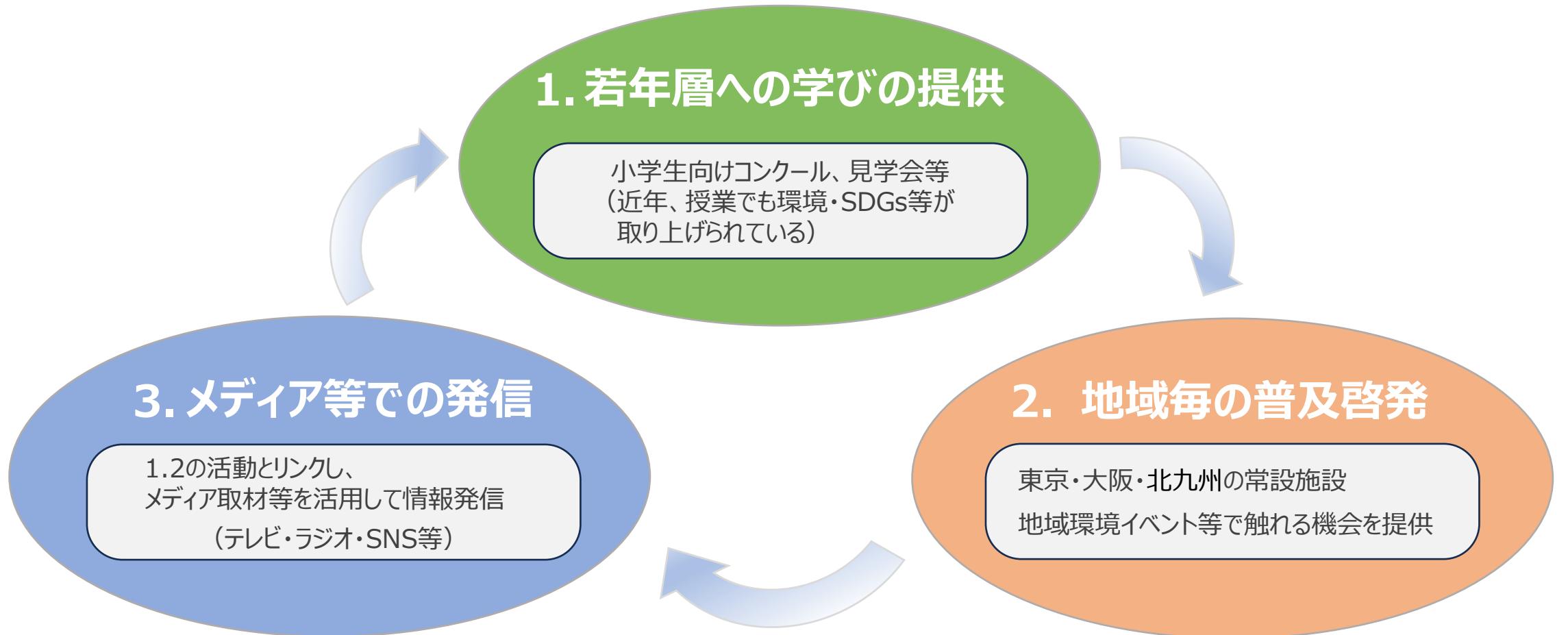
公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2025年12月9日

1. ユーザー理解活動 概要	…… P2
2. 若年層への学びの提供	…… P3
3. 地域毎の普及開発	…… P6
4. メディア等での発信	…… P7
5. 予算執行状況	…… P8
6. まとめ	…… P9

1. ユーザー理解活動 概要（リマインド）

2021年7月自動車リサイクルに関する合同会議（産業構造審議会、中央環境審議会）の「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」の提言に基づき、**幅広い観点からユーザーの理解を促進**するため、関係者間の連携を促進しつつ、より透明性の高い情報発信を行う。また、ユーザーと事業者間の円滑な取引に寄与するため、制度における**ユーザーの役割について普及啓発**に取り組む。



2. 若年層への学びの提供(1/3) 小学生を対象とした活動①

- 小学生を対象にした事業者見学会を6回実施。見学会実施に際してはメディア誘致による情報拡散に取り組んだ。
- 同見学会とリンクする企画として、**小学生新聞に記事を掲載**(発行部数 140万部)。

製造事業者	販売事業者	オークション会場	整備事業者	解体事業者	破碎事業者
ダイハツ工業 (京都)	富山ダイハツ販売 (富山)	JU青森 (青森)	カーメッセiSHii (長野)	永田プロダクト (山形)	マテック (北海道)

見学会の様子



小学生新聞への掲載



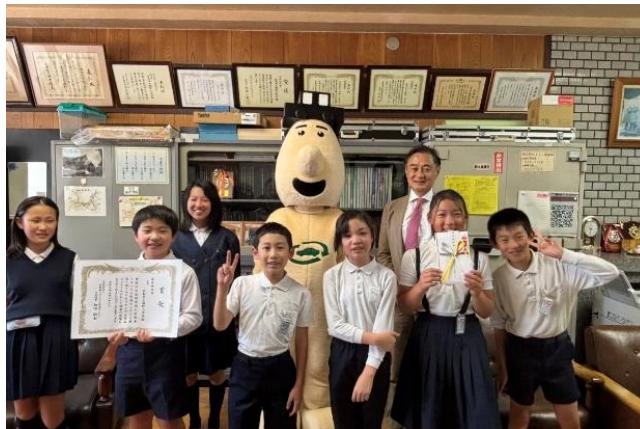
2. 若年層への学びの提供 (2/3) 小学生を対象とした活動②

- 2024年度 第8回「クルマのリサイクル」作品コンクールにおいて団体特別賞を受賞した小学校4か所を個別に訪問し表彰を実施。
 - 2025年度 第9回「クルマのリサイクル」作品コンクールの募集要項を改善し、募集中(～1月末)。

2024年度の表彰（メディア取材あり）



(福島県) 喜多方市立上三宮小学校



(広島県) 広島市立瀬野小学校

2025年度 作品募集（応募期限 1月末）



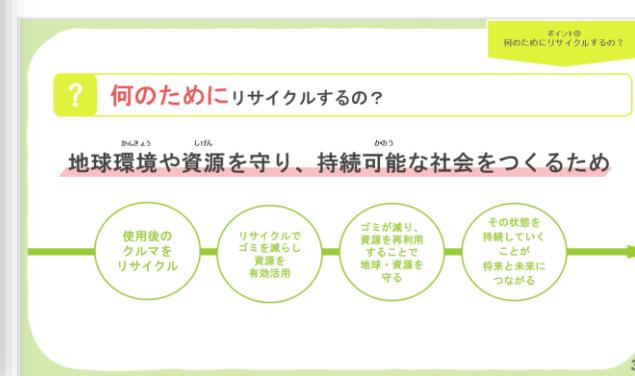
昨年度の応募減少を踏まえ、2023年度は応募したが2024年度は応募しなかった89校にヒアリングを実施し、改善策を盛り込み。

主なヒアリング課題		主な改善施策
①	作品を出す児童が少ない ✓児童目線で魅力が乏しい (一目で分かる売りが無い)	参加賞として、 自分の作品が印刷された記念品 を配布
②		小学生に人気のタレントを審査員に起用
③		選外作品もSNSやWebで公開
④	他のコンクールを優先される ✓学校への フォロー・アプローチが 多い他コンクールを優先	見送り校へ改めてご挨拶 継続参加校へのお礼ご挨拶
⑤	応募スケジュールが遅い	2学期開始前に各学校にチラシで通知
⑥	小学校での取組規模が 減っている（先生不足等）	小学校以外に、絵画教室を訪問・開拓

2. 若年層への学びの提供 (3/3) 小学生を対象とした活動③

- 小学5年生でのSDGs授業に合わせ出前授業を実施。昨年度のトライアルを踏まえ、児童の関心を惹く漫画教材を中心に構成。
- 見学会・作品コンクールへの応募校(出前授業のご要望校)を対象に、本年度は10校で実施予定。

小学生を対象にした出前授業



昨年度に各小学校に配布した漫画教材を活かし読み聞かせ(ミニお芝居)・動画や資料・児童の意見発表などを組みわせた授業としている。

先生・児童の皆さんより、授業の最後まで興味をもってSDGs/循環型社会への理解が深まるといい意見をいただいている。



3. 地域毎の普及啓発

- 地方公共団体等が主催する**地域イベント13か所**で普及啓発を実施中。 本件とリンクし、ニュースリリース・SNS等で情報を発信。
- 地域の**学習施設3カ所** (自治体からご要望) で、**夏休み児童向けのワークショップを実施。** (漫画活用講座+自動車の廃材由来のインクを使用した工作)

地域イベントへの出展

エリア	イベント名	開催月日
北海道	環境広場さっぽろ	7/26-27
関東	八王子環境フェスティバル	6/15
	エコフェスひたち	6/28
	エコプロ	12/10-12
北陸	ふるさと環境フェア	9/27
	とやま環境フェア	10/11-12
	いしかわ環境フェア	11/1-2
中部	環境デーなごや中央行事	9/13
近畿	京都環境フェスティバル	2/11
中国 ・ 四国	「環境の日」広島大会	6/15
	まつやま環境フェア	10/25-26
九州	環境フェスタかごしま2025	10/18-19
	環境フェスティバルふくおか	10/25-26



福井



北海道



鹿児島

学習施設でのワークショップ[°]

自治体	学習施設	開催日
入間市	入間市産業文化センター	7/19
東京都中央区	東京都中央区立環境情報センターEコノバ	8/10
東京都板橋区	東京都板橋区立リサイクルプラザ	8/16



入間市産業文化センター



東京都中央区立
環境情報センターEコノバ



東京都板橋区立
リサイクルプラザ

4. メディア等での発信

- ニュースリリースを15件配信。当該情報がネットメディア1,037媒体に転載。(広告費換算 2.7億円)
- テレビ地上デジタル放送で339本配信。ラジオ放送357本配信。トレインTVでの配信を下期に予定。
- その他、地域イベント等の開催状況をSNS等のデジタルメディアで随時配信。(フォロワー目標 1,000人=マイクロインフルエンサー 全体の3割)

ニュースリリースの配信

News Release

全国の小学生を対象とした
第8回「クルマのリサイクル作品コンクール
受賞者の表彰式を開催

主催：自動車リサイクル促進センター（所在地：東京都新宿区、代表理事：細田博士）は、2025年3月28日（金）、「さくづか会議室において第8回「クルマのリサイクル」コンクールの表彰式を開催しました。

このコンクールは、小学生が自動車リサイクルについて学んだことを知りたいことや、循環型社会の実現に向け自動車リサイクルの取り組みについて深く理解し、日本を含む世界中の環境問題に対する意識を高めることを目的としています。

今回の表彰式では、全国から4,515点ものクリエイティブな作品が提出され、審査では最優秀賞、小学新規賞、最高賞特別賞の授賞式に式典が実施されました。

*表彰式会場 URL: <https://www.jarc.or.jp/watch/v-53f8hLTHYF>
*審査会場 URL: https://www.jarc.or.jp/competition_count/conference

<受賞者集合写真>

News Release

自動車リサイクル促進センター
大規模自然災害等の
被災地域支援活動に対する
災害対応支援環境大臣表彰を受けました

公益財団法人自動車リサイクル促進センター（所在地：東京都新宿区、代表理事：細田博士）は、2025年6月25日、東京都市千代田区議会において、「大規模自然災害等の被災地域支援活動に対する災害対応支援環境大臣表彰」を受けました。

本表彰は、大規模災害における消防車両が大変に困った場合に、自動車リサイクル法に基づいた適正処理が求められます。自治体における消防車両の修理・整備、自動車リサイクル法による対応要請や知識を認定され、被災自転車の処理完了まで推進して復興に寄与しています。

既存半島地の被災地支援として、横浜市港北区に複数化して導入した消防自動車(81台)の撤去に環境省・総務省・一般社団法人日本自動車リサイクル連盟と連携して貢献することができました。今後も大規模災害発生時の復興および持続可能な社会の実現に向けて社会的な貢献を積極的に進めまいといい感じです。

*表彰会場 URL: https://www.enw.go.jp/press/press_0506.html

[本件に関する問合せ先]
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 広報・理解活動推進部
E-mail: info@jarc.or.jp Tel: 03-5731-7144 (直通)

インターネットメディア例

CNET Japan、ZDNET Japan、RBB TODAY、共同通信デジタル、Response、ZAKZAK、週刊女性PRIME、exciteニュース、Infoseekニュース、J-CAST ニュース、毎日スタイル 他

テレビ・ラジオ等による情報発信

区分	地域	放送局	接触者数計画
テレビ (地上)	関東を除く 全国	関東を除く全国 特に、認知度の低い傾向の見られる地域(過去5年平均)に、重点して配信 2025重点配信 ・富山・福井・滋賀 ・広島・三重	1億3,000万人
ラジオ	全国	TOKYO FM、 TBSラジオ、ニッポン放送	1億7,000万人

トレイン TV	関東圏 ・ 首都圏	首都圏JR路線 大手私鉄路線 (10路線程度)	計画中
------------	-----------------	-------------------------------	-----

SNS等の活用



5. 予算執行状況

- 年度予算額 **2.62** 億円に対し現時点の見通しは **2.51** 億円 (95.9%)。計画案件をほぼ予定通り遂行中。

(単位:万円)

#	取組みの目的	施策例	年度予額 ①	上期決算	年度見込 ②	年度差異 ① vs ②	年度執行率 ① / ② %
1	➢ 地域ユーザーの知る機会の創出 ➢ 地域ユーザーの認知拡大・関心喚起	‣ 地域イベントへの出展・参加 ‣ 常設展示施設での普及啓発	6,300	2,152	6,013	▲287	95.4%
2	➢ 小学生の学びの機会の創出 ➢ 保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起	‣ 小学生作品コンクールを開催 ‣ 小学校向け図書を寄贈 ‣ 小学校向け出前授業	8,150	1,708	7,873	▲277	96.6%
3	➢ 若年層の知る機会の創出 ➢ 若年層の学びの機会の創出	‣ 自動車教習所での普及啓発 ‣ 大学生向け見学会	1,600	425	1,500	▲100	93.8%
4	➢ 各施策の相乗効果を高める取組み ➢ 音や映像による認知拡大・関心喚起	‣ ニュースリリース / パブリシティ ‣ メディアを活用した情報配信 (テレビ・ラジオ・SNS等)	7,540	269	7,395	▲145	98.1%
5	➢ 発信情報の改善、認知度調査 ➢ その他	‣ ウェブ・ポスター制作、認知度調査 ‣ その他の委託費・予備費	2,610	1,035	2,356	▲254	90.3%
合 計			26,200	5,589	25,137	▲1,063	95.9%

6. まとめ

- 最新のユーザー認知度(全年齢)は約80%。若年齢(30歳未満)は約70%。… ほぼ昨年度並み

*ユーザー認知度 … 全国で調査時点から3か月以内の自動車購入者を対象とし自動車リサイクル法の認知度を調査

- 若年層の認知度向上を目指し、近年、小学生・若年層向け施策に力点を置いた取組みを継続している。

- ✓ 今後も 将来リサイクルの核を担う児童に向け、資源循環の重要性も盛り込んだ学びの機会拡大に注力 する。

漫画教材
イメージ



- ✓ 若年層はSNS/インターネット等からの認知が高いため、これらの施策を強化する。

※ 前回の本委員会でご意見をいただいた動画コンテンツなど、新たな企画も検討する。

- 地域毎の特性を生かした取組みを実施する。(例 … 首都圏:下期にトレインTV配信予定、地方圏:テレビCM継続)

/以上

<MEMO>

<https://www.jarc.or.jp/>